

(教材第3号様式)

吉田学術教育振興会
令和6年度 教材活用状況報告書

報告日 令和 8年 1月 6日

公益財団法人吉田学術教育振興会
理事長 山 倉 修 一 殿

学校名	小竹町立小竹中学校
報告者	青木久美子 (連絡先 TEL : 0949-62-1131)
寄贈品	天体投影機
活用状況 (使用者、使用内容、使用頻度等)	使用者 : 第3学年生徒 (理科) 使用内容 : 「地球と宇宙」の単元における様々な天体の動きの確認 使用頻度 : 年4~5回程度
申請当初の 目的達成状況	当初計画していた取組や学習を計画通り行うことができ、目的を十分に達成している。
教育的効果について 所見等	教科書やタブレットなどの映像教材では理解しにくい天体の3次元の動きを、広い空間の中で確認することができた。生徒は太陽も他の天体も同じ規則性のもと運動することを確認することができ、理解を深めることができた。

活用状況の写真等（当日の様子など）

天体の日周運動の観察を行い、その観察記録を地球の自転と関連付けて理解させる時間に活用した。生徒を1グループ10人程度に分割し、交代で観察を行った。生徒は天頂の意味や天体の日周運動を正確にとらえることができたようで、感心しながら観察を行っていた。



今後の活用見通し・課題

天体投影機の設置におよそ40分程度かかった。また、上からつるす方式のため、使用する場所を選ぶことが課題である。しかし、天体の立体的な動きを視覚的にとらえやすいため、天体の単元では今後も使用頻度が高まると思われる。